

学校基本情報

1、学校の概要、目標及び計画

(1) 建学の精神

開校以来、常に音楽・楽器業界と太いパイプを持ち、「業界の人材ニーズ」に応える形で、「音楽・楽器業界で役立つ人材を育成する」ことを目的とする。

(2) 教育理念・校訓

豊かな人間性
確かな知識・技術の習得
克己心

この三点を重視した教育活動を日々推進していく。

(3) 理事長及び校長名、所在地、連絡先等

学校法人中部学園 理事長 角堀 雅信
中部楽器技術専門学校 校長 角堀 雅信
(所在地) 〒466-0027 愛知県名古屋市中区阿由知通3丁目13番地の6
(連絡先) TEL 052-741-6788 FAX 052-741-6789
(ホームページ) www.chubugakki.ac.jp

(4) 学校の沿革

学校の沿革	
昭和54年11月	ピアノ調律師養成学校開校準備のため設立。名称 中部ピアノ調律専門学院
昭和55年4月	中部ピアノ調律専門学校を開校 所在地 名古屋市昭和区御器所通3-2
昭和56年4月	中部ピアノ技術専修学校に改名、愛知県認可。
昭和62年4月	学校本部を名古屋市昭和区石仏町1-1へ移転 ピアノ調律、管楽器リペア、ギタークラフトコースの3分野とする。
平成元年4月	校名を中部楽器技術専門学校と改名。 学校本部を、名古屋市昭和区阿由知通3-13-6に置く
平成11年4月	ピアノ調律、管楽器リペアを学科、ギタークラフトコースを弦楽器製作科として設置変更。
平成13年4月	弦楽器製作科にバイオリン修理&製作コースを新たに設置。
平成16年4月	楽器総合学科を新設。
平成18年7月	三重県湯の山に研修施設を導入。
平成25年4月	学校法人中部学園を設立。

(5) その他の諸活動に関する計画

(学校安全計画) 毎年避難訓練を計画、実施。
防災用備品の備蓄を行い、非常時に備えている。

2、各学科の教育等

(1) 入学者に関する受入れ方針及び収容定員、在校生数

本校の課程、学科、及び修業年限並びに定員は、以下のとおりです。

分野	課程	学科名	修業年度	入学定員	総定員	昼夜
文化教養	専門課程	ピアノ調律科	2年	30名	60名	昼
		管楽器リペア科	2年	30名	60名	昼
		弦楽器製作科	2年	30名	60名	昼
		楽器総合学科	3年	36名	108名	昼
合計				126名	288名	

ア) 入学資格

本校の入学資格は、高等学校卒業又は、これと同等の学力がある男女とする。
本校の入学には、特待生制度を設ける。

イ) 学科別在校生徒

分野	課程	学科名	総定員数	在校生数
文化教養	専門課程	ピアノ調律科	60名	22名
		管楽器リペア科	60名	109名
		弦楽器製作科	60名	27名
		楽器総合学科	108名	66名
			288名	224名

(2) カリキュラム

ピアノ調律科

科目区分	授業科目	講義 実技別	1年	2年	授業時数	
			年間授業時間数	年間授業時間数	総合計 (単位)	
必修 専門 科目	調律実技(基礎)	実技	204		6	204
	調律実技(割振Ⅰ)	実技	42		1	42
	調律実技(割振Ⅱ)	実技		40	1	40
	調律実技(オクターブ・ユニゾンⅠ)	実技	182		6	182
	調律実技(オクターブ・ユニゾンⅡ)	実技		80	2	80
	調律実技(4Hz変更1台仕上Ⅰ)	実技	84		2	84
	調律実技(4Hz変更1台仕上Ⅱ)	実技		244	8	244
	GP調律	実技		80	2	80
	UP整調(基礎)	実技	82		2	82
	UP整調(応用)	実技	12	74	2	86
	GP整調	実技	18	70	2	88
	基本修理	実技	130		4	130
	応用修理	実技		45	1	45
	リビルド	実技		60	2	60
	調律理論	講義	16	4	1	20
	整調理論	講義	58	34	6	92
	修理理論	講義	34	22	3	56
	構成論	講義		60	4	60
	業界ビジネス	講義	52	50	6	102
ピアノ演奏	実技	6	5	2	11	
必修 教養 科目	一般ビジネス	講義	40		2	40
	楽器知識	講義	38		2	38
	音楽教養	講義	44	36	4	80
	国際音楽情報知識	講義	44	44	5	88
	音楽美学(特別講義)	講義	8	8	2	16
	音響学(特別講義)	講義	24		1	24
	ホームルーム	講義	60	60	2	120
選択 専門 科目	卒業前研修	実技		160	5	160
専門科目授業時数			920	868	63	1788
教養科目授業時数			258	148	18	406
選択専門科目授業時数				160	5	160
卒業に必要な授業時数			1178	1016	81	2194
年間授業日数			210	200		

管楽器リペア科

科目区分	授業科目	講義 実技別	1年	2年	授業時数	
			年間授 業時間 数	年間授 業時間 数	総合計 (単位)	
必 須 専 門 科 目	クラリネット調整・メンテナンス	実技	104	40	4	144
	クラリネットタンポ交換	実技	104	50	5	154
	フルート調整・メンテナンス	実技	58	86	4	144
	フルートタンポ交換	実技	96	82	5	178
	サクソフォン調整・メンテナンス	実技	94	52	4	146
	サクソフォンタンポ交換	実技	80	78	5	158
	木管総合修理	実技		80	2	80
	金管修理Ⅰ(メンテナンス)	実技	34		1	34
	金管修理Ⅱ(溶接)	実技	66		2	66
	金管修理Ⅲ(凹出し)	実技	60		2	60
	金管修理ⅣⅤ(抜差管調整)(ピストン調整)	実技	70		2	70
	金管修理Ⅵ(トロンボーンスライド調整)	実技		42	1	42
	金管修理Ⅶ(ホルンロータリー調整)	実技	40		1	40
	金管修理Ⅷ(部品交換)	実技		60	2	60
	金管修理Ⅸ(総合修理)	実技		198	6	198
	楽器演奏FL	実技	4		1	4
	楽器演奏CL	実技	4		1	4
	楽器演奏SAX	実技	4		1	4
	木管修理理論	講義	90	38	8	128
	金管修理理論	講義	52	48	6	100
管楽器学	講義	60		4	60	
演奏知識	講義		54	3	54	
業界ビジネス	講義	40	40	4	80	
商品知識	講義	40	40	4	80	
必 須 教 養 科 目	一般ビジネス	講義	40		2	40
	楽器知識	講義	36		2	36
	音楽教養	講義	44	36	4	80
	音楽美学(特別講義)	講義	8	8	2	16
	音響学(特別講義)	講義	24		1	24
	ホームルーム	講義	60	60	2	120
選 択 専 門 科 目	卒業前研修	実技		160	5	160
専門科目授業時数			1100	988	78	2088
教養科目授業時数			212	104	13	316
選択専門科目授業時数				160	5	160
卒業に必要な授業時数			1312	1092	91	2404
年間授業日数			210	200		

弦楽器製作科ギタークラフトコース

科目区分	授 業 科 目	講義 実技 別	1年	2年	授業時数	
			年間授 業時間 数	年間授 業時間 数	総 合 計 (単位)	
必 須 専 門 科 目	ボルトオンギター製作Ⅰ(ボディ加工)	実技	92		3	92
	ボルトオンギター製作Ⅱ(塗装)	実技	38		1	38
	ボルトオンギター製作Ⅲ(セットアップ)	実技	40		1	40
	ベース製作Ⅰ(ボディ加工)	実技	60		2	60
	ベース製作Ⅱ(ネック加工)	実技	70		2	70
	ベース製作Ⅲ(塗装)	実技	38		1	38
	ベース製作Ⅳ(セットアップ)	実技	34		1	34
	レスポール製作Ⅰ(ボディ加工)	実技	18	100	3	118
	レスポール製作Ⅱ(ネック加工)	実技	86		2	86
	レスポール製作Ⅲ(塗装)	実技		40	1	40
	レスポール製作Ⅳ(セットアップ)	実技		34	1	34
	アコースティック製作Ⅰ(ボディ加工)	実技		154	5	154
	アコースティック製作Ⅱ(ネック加工)	実技		45	1	45
	アコースティック製作ⅢⅣ(塗装)(セットアップ)	実技		60	2	60
	卒業製作Ⅰ(ボディ加工)	実技		144	4	144
	卒業製作Ⅱ(ネック加工)	実技		45	1	45
	卒業製作Ⅲ(塗装)(セットアップ)	実技		60	2	60
	刃物研ぎ・鉋台調整	実技	100		3	100
	治具工具製作	実技	94		3	94
	設計・製図	実技	56	120	5	176
	リペアⅠ(調整交換)	実技	112	44	5	156
	リペアⅡ(修理)	実技	2	72	2	74
	製作理論	講義	52	56	7	108
	構成論	講義	20	16	2	36
	リペア理論	講義	15	15	2	30
	電気理論	講義	24	12	2	36
業界ビジネス	講義	36	20	3	56	
必 須 教 養 科 目	一般ビジネス	講義	40		2	40
	楽器知識	講義	15		1	15
	音楽教養	講義	38	34	4	72
	ホームルーム	講義	60	60	2	120
選 択 専 門 科 目	卒業前研修	実技		160	5	160
専門科目授業時数			987	1037	67	2024
教養科目授業時数			153	94	9	247
選択専門科目授業時数				160	5	160
卒業に必要な授業時数			1,140	1,131	76	2,271
年間授業日数			210	200		

弦楽器製作科バイオリン修理&製作コース

科目区分	授 業 科 目	講義 実技別	1年	2年	授業時数	
			年間授 業時間 数	年間授 業時間 数	総 合 計 (単位)	
必 須 専 門 科 目	木工理論	講義	16		1	16
	木工Ⅰ(刃物研ぎ)	実技	82		2	82
	木工Ⅱ(治具工具製作)	実技	82		2	82
	製作理論	講義	30	8	2	38
	製作Ⅰ(製作準備)	実技	100		3	100
	製作Ⅱ(ブロック・横板加工)	実技	136	60	6	196
	製作Ⅲ(ネック加工)	実技	140	42	6	182
	製作Ⅳ(表板加工)	実技	148	82	7	230
	製作Ⅴ(裏板加工)	実技		154	5	154
	製作Ⅵ(ライニング・箱閉)	実技		38	1	38
	製作Ⅶ(仕込み)	実技		60	2	60
	製作Ⅷ(セットアップ)	実技		60	2	60
	塗装	実技		90	3	90
	修理理論	講義	12	18	2	30
	修理Ⅰ(弓)	実技		38	1	38
	修理Ⅱ(毛替)	実技	70	76	4	146
	修理Ⅲ(セットアップ)	実技	52	110	5	162
	演奏	実技	10	10	2	20
	構成論	講義	22	18	2	40
	業界ビジネス	講義	40	40	5	80
必 須 教 養 科 目	一般ビジネス	講義	40		2	40
	楽器知識	講義	42		2	42
	音楽教養	講義	44	36	5	80
	音楽美学(特別講義)	講義	8	8	2	16
	音響学(特別講義)	講義	24		1	24
	ホームルーム	講義	60	60	2	120
選 択 専 門 科 目	卒業前研修	実技		160	5	160
専門科目授業時数			940	904	63	1844
教養科目授業時数			218	104	14	322
選択専門科目授業時数				160	5	160
卒業に必要な授業時数			1,158	1,008	77	2,166
年間授業日数			210	200		

楽器総合学科

科目区分	授業科目	講義 実技別	第1学年	第2学年	第3学年		授業時数 総合計 (単位)	
			年間授 業時間 数	年間授 業時間 数	年間授 業時間 数	コース選 択 授業時数 合計		
必須専門科目	鍵盤楽器概論	講義	60	60			8	120
	鍵盤実技	実技	60	60			4	120
	管打楽器概論	講義	60	60			8	120
	管打楽器実技	実技	60	60			4	120
	弦楽器概論	講義	60	60			8	120
	弦楽器実技	実技	60	60			4	120
	楽器演奏	実技	120	120			8	240
	小物楽器知識	講義	48	30			5	78
	舞台実務	講義		16			1	16
	舞台実務(実技)	実技		32			1	32
	DTM	実技		60			2	60
	アートプロデュース	実技	24	15			1	39
必須教養科目	音楽教養	講義	30	36			4	66
	一般ビジネス	講義	40				2	40
	ビジネス概論Ⅰ	講義	60				4	60
	ビジネス概論Ⅱ	講義		60			4	60
	英会話	講義	60	60	40		10	160
	音楽著作権	講義	30				2	30
	小売販売知識	講義	48				3	48
	経営戦略思考	講義			30		2	30
	ホームルーム	講義	60	60	60		3	180
選択科目	各コース選択実技	実技			600		20	600
	各コース選択講義	講義			200		13	200
選択専門科目	卒業前研修	実技			160		5	160
必須専門科目授業時数			552	633	0		53	1185
必須教養科目授業時数			328	216	130		34	674
コース選択科目授業時数					800		33	800
選択専門科目授業時数					160		5	160
卒業に必要な授業時数			880	849	930		120	2,659
年間授業日数			210	200	200			

(3) 進級、卒業の要件等

ア) 進級について

当該学年において、定められた単位をすべて修得したものに進級を認める。

イ) 卒業について

学校が定めた単位すべてを修得したものに、卒業を認め、卒業証書を授与する。

(4) 学習の成果として取得を目指す資格

【ピアノ調律科】

*ピアノ調律技能検定3級 (一般社団法人 日本ピアノ調律師協会 主催)

(5) 資格取得、検定試験合格等の実績

【ピアノ調律科】

*ピアノ調律技能検定3級 受験者数16名 合格者11名 合格率69%

(6) 卒業者数、卒業後の進路

ア) 平成26年度卒業者数 89名

イ) 平成26年度進路状況 就職 83名

ウ) 平成26年度主な就職先

株式会社下倉楽器/ミヤザワフルート製造株式会社/株式会社河合楽器製作所

株式会社村松フルート製作所/株式会社黒澤楽器店/株式会社開進堂楽器

株式会社寺田楽器/株式会社ドルチェ楽器/ユリ楽器株式会社/株式会社アルタス

株式会社第一楽器/株式会社川本ピアノサービス/財団法人名古屋市文化振興事業団

3、教職員

教員		職員		計
本務	兼務	本務	兼務	
14	20	11	1	44

4、キャリア教育活動・教育環境

(1) キャリア教育への取組状況

学生の就職支援の一環として、キャリア教育の更なる充実・向上を図っている。

○教員のキャリア教育（キャリアサポーター研修）への参加。

○教員のポートフォリオ作成勉強会

○キャリアワーク授業のカリキュラム組み込み。

○全学生対象のポートフォリオ

(2) 実習・実技等の取組状況

就職後の即戦力に向け実践的授業となるインターン実習に力を入れている。

○ピアノ調律科：名古屋市の依頼による「施設訪問調律」の実施。

⇒41施設60台のピアノ調律を実施。

○管楽器リペア科：企業（楽器店）と連携した「学校訪問修理」の実施。

⇒27校で1,436本の管楽器を修理。

5、様々な教育活動・教育環境

(1) 学校行事への取組状況

月	学校行事
4月	入学式、新年度合宿、消火訓練
5月	健康診断
6月	ヤマハ工場見学、東京ギターショー見学
7月	
8月	
9月	バイオリン工場見学
10月	中国研修旅行、スポーツ大会
11月	学園祭、イタリア研修旅行、楽器フェア見学
12月	バイオリン工場見学
1月	ピアノメーカー見学
2月	卒業前研修、ギター工場見学
3月	卒業演奏会、卒業式

(2) 課外活動

- ・各種コンサート鑑賞
- ・各学科別湯の山研修センター合宿

(3) 地域貢献活動

- ・昭和区民まつり参加（10月）
- ・A J U自立の家 行事参加（5月、11月）
- ・学区及び地域イベントにおける演奏ボランティア参加（11月、12月）
- ・名古屋市施設訪問交流演奏会主催（12月）

(4) 教育環境

- ・湯の山研修センター
- ・各学科専用の実習室
- ・専門分野を中心とした図書・ライブラリアン
- ・調律トレーニング防音BOX
- ・音響スタジオ

6、学生の生活支援

- ・クラス担任制によりきめ細かな学生サポート、指導を実施。
- ・保護者宛てに、今後の予定、出席状況ならびに学期ごとの成績表の送付。
- ・遠方の入学生に対し学園推奨のアパートを紹介。
- ・就職指導担当は、就職先の開拓を毎年行い、卒業生の活躍の場を広げている。

7、学生納付金・就学支援

(1) 学生納付金

区分	文化教養専門課程			
	ピアノ調律科	管楽器リペア科	弦楽器製作科	楽器総合学科
授業料(月額)	55,000	55,000	55,000	55,000
入学料	300,000	300,000	300,000	300,000
入学検定料	20,000	20,000	20,000	20,000
教育充実費(年額)	210,000	210,000	270,000	220,000
施設費(年額)	300,000	300,000	300,000	200,000

- ・全学科とも、自己所有の工具やオリジナルテキスト・制服代等が別途必要。
¥150,000～¥200,000程度。(楽器総合学科は¥80,000程度)
- ・各工場見学や合宿研修などの交通費や学生保険、卒業アルバム制作などの目的に、積立金として、全学科とも年間¥80,000(前期分¥40,000、後期分¥40,000)が別途必要。

【納入時期】

- ・AO入試、推薦入試、社会人特別推薦入試合格者
合格発表から2週間以内。
- ・一般入試合格者
合格発表から1週間以内。

(2) 特待生制度

- ア、AO特待生制度
合格すると入学金¥300,000以外の学費全額を免除する。
- イ、推薦特待生制度
合格すると年間授業料¥660,000全額を免除する。
- ウ、特待生制度
合格すると入学金¥300,000を免除する。

(3) 就学支援

- ア、日本学生支援機構奨学金
- イ、各種教育ローン
- ウ、オリエントコーポレーションの学費サポートローン

8、学校の財務

平成26年度財務計算書類のうち下記のことを本校ホームページに公表しております。

- ・資金収支計算書
- ・消費収支計算書
- ・貸借対照表

9、学校評価

(1) 自己評価

平成26年度学校自己評価報告書を本校ホームページにて公表しております。

(2) 学校関係者評価

平成26年度学校学校関係者評価を本校ホームページにて公表しております。